

# ふくい街角景気速報

(令和7年11月分)

調査期間 令和7年11月18日～25日 (回答率：90%)

## 概況

景気の現状判断DIは43.3となり、前月と比べ2.5ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは44.4となり、前月と比べ2.8ポイント低下した。

### ■景気の現状判断DI 43.3 (前月比 ▲2.5)

○家計動向関連では、前月に比べ1.5ポイント上昇した。

○企業動向関連では、前月に比べ9.2ポイント低下した。

○雇用関連では、前月と同水準であった。

#### (意見の主な内容)

○客数は増えているが、客单価は低いので売上は微増程度。猛暑だった夏に比べると購買意欲を感じる。(百貨店、SC等)

○製造業、非製造業を問わず、売上高は減少傾向であり、依然として原材料価格は高止まりが続いている。価格転嫁が追いつかない状況。設備投資にも消極的である。

(銀行等金融関連)

### ■景気の先行き判断DI 44.4 (前月比 ▲2.8)

○家計動向関連では、前月に比べ0.8ポイント上昇した。

○企業動向関連では、前月に比べ9.1ポイント低下した。

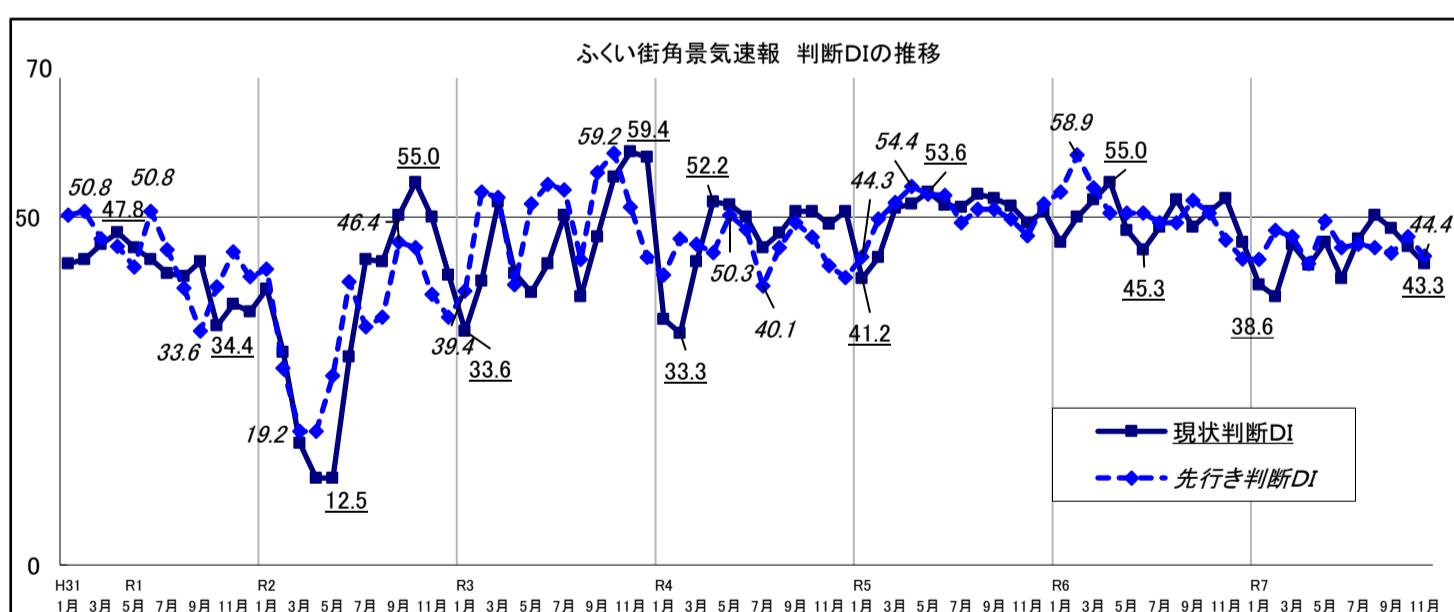
○雇用関連では、前月に比べ2.3ポイント上昇した。

#### (意見の主な内容)

○物価高による節約志向に変化は感じないが、首相交代の期待感や燃料費補助等の効果から、年末年始の消費行動に、多少なりとも活気が出てくることを期待。(百貨店、SC等)

○原料の大幅な値上げが決まっている。(食料品製造関連)

○多くの取引先からは、世界情勢、大型公共工事の発注減、長引く原材料価格の高騰や人件費の圧迫など、先行きの不安を訴える声が多く、資金繰りにも慎重な様子が見られている。(銀行等金融関連)



## <目次>

調査の概要	1 P	
1. 景気の現状判断DI	2 P	
2. 景気の先行き判断DI	2 P	
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 (2) 景気の先行き判断の理由	3 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 (2) 調査票	5 P
		6 P

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

### 2. 調査の実施概要

#### (1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

#### (2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2~3か月後の景気の先行き判断とその理由

#### (3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

### 3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75		0.5	0.25

### 4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100  
悪くなっている                  変わらない                  良くなっている

## 1. 景気の現状判断DI

### ○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R7 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		41.2	46.9	50.3	48.4	45.8	43.3	▲2.5
家計動向関連		37.0	45.3	48.4	47.9	41.7	43.2	+1.5
小売		37.5	44.5	41.7	44.2	39.2	43.1	+3.9
飲食		25.0	45.0	70.8	54.2	45.8	50.0	+4.2
サービス		41.7	47.7	54.5	54.2	45.8	40.9	▲4.9
企業動向関連		43.4	48.5	52.3	47.7	49.2	40.0	▲9.2
製造業		42.7	46.7	52.2	45.8	45.5	36.0	▲9.5
非製造業		45.0	52.5	52.5	53.1	58.3	50.0	▲8.3
雇用関連		52.3	50.0	52.5	52.3	54.5	54.5	+0.0

### ○回答別構成比

	年 月	R7 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなっている		1.1%	2.2%	2.2%	2.2%	1.1%	0.0%	▲1.1
やや良くなっている		9.9%	15.6%	18.9%	14.3%	17.8%	13.3%	▲4.5
変わらない		48.4%	55.6%	57.8%	60.4%	47.8%	57.8%	+10.0
やや悪くなっている		34.1%	21.1%	20.0%	20.9%	30.0%	17.8%	▲12.2
悪くなっている		6.6%	5.6%	1.1%	2.2%	3.3%	11.1%	+7.8

## 2. 景気の先行き判断DI

### ○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R7 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		45.6	46.1	45.6	44.8	47.2	44.4	▲2.8
家計動向関連		46.2	46.4	44.1	45.3	45.8	46.6	+0.8
小売		44.6	45.3	42.5	45.8	50.0	49.1	▲0.9
飲食		54.2	55.0	41.7	37.5	41.7	43.8	+2.1
サービス		45.8	45.5	50.0	47.9	37.5	40.9	+3.4
企業動向関連		44.9	46.2	47.0	41.4	48.4	39.3	▲9.1
製造業		43.8	43.5	47.8	39.6	46.6	37.0	▲9.6
非製造業		47.5	52.5	45.0	46.9	52.8	45.0	▲7.8
雇用関連		45.5	44.4	47.5	52.3	50.0	52.3	+2.3

### ○回答別構成比

	年 月	R7 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなる		2.2%	4.4%	1.1%	0.0%	2.2%	0.0%	▲2.2
やや良くなる		16.5%	11.1%	11.1%	19.8%	15.6%	18.9%	+3.3
変わらない		48.4%	54.4%	61.1%	46.2%	55.6%	51.1%	▲4.5
やや悪くなる		27.5%	24.4%	22.2%	27.4%	22.2%	18.9%	▲3.3
悪くなる		5.5%	5.6%	4.4%	6.6%	4.4%	11.1%	+6.7

### 3. 判断理由

#### (1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	福井	百貨店、SC等	今月は厳しい寒さではなかったものの、冬物衣類の準備等で、売上は久しぶりに回復傾向にある。特段、ヒット商品やトレンドの傾向は無く、ここ最近購入を控えてきたお客様の来店が多いとみている。
		福井	百貨店、SC等	客数は増えているが、客单価は低いので売上は微増程度。猛暑だった夏に比べると購買意欲を感じる。
		坂井	観光関係	越前ガニ漁の解禁や忘年会需要があるため。
	雇用	嶺南	労働相談員	労働相談件数から判断すると、2カ月前から相談件数が少なくなっている。景気が良くなり労働問題が減ってきていると判断する。
③変わらない	家計動向	福井	商店街	寒くなり人通りが減少傾向だが、大きく売り上げまでは変化していない。
		嶺南	一般小売店	相変わらず低迷している。
		嶺南	百貨店、SC等	新政権での政策の効果はまだ表れていない。
		坂井	スーパー	11月に入って、ようやく気温も下がり、冬物の売上に動きは出ているものの、来店客数の傾向は依然として変わっていない。
		嶺南	スーパー	米の価格が上昇した分、他の買い物を控えているように見受けられる。
		奥越	観光物産関係	材料の値上がり。
		嶺南	飲食関連	物価の上昇が変わらず続いている。
	企業動向	福井	観光関係	7~8月のトップシーズンから比べると、レジャー目的のお客様からビジネス客の流入が目立つ。また、MICEやコンベンションも、昨年比では少ないが、一定数はあるため、飲食も含め好調を維持している。
		坂井	織維関連	好調な分野も見られるが、引き続き全体的には停滞な動きのため。
		福井	一般機械関連	米国関税の影響はあるが、一定の商談・受注はあるので、変わりなし。
		福井	化学・プラスチック関連	受注状況が変わらない。
		福井	銀行等金融関連	製造業、非製造業を問わず、売上高は減少傾向であり、依然として原材料価格は高止まりが続いており、価格転嫁が追いつかない状況。設備投資にも消極的である。
		福井	建設・不動産関連	大きな変化を感じない。
		福井	運輸関連	直近の企業間物流の物量には、大きな変化がない。
④やや悪くなっている	家計動向	丹南	自治体労働政策担当課	域内の有効求人倍率や融資状況は、前月並みで推移しており、最近の景気動向と変わらないが、最低賃金の上昇や長引く物価高騰により、今後、雇用を控える企業も出てくると思われる。
		嶺南	学校就職担当者	大企業は上向きに感じるが、中小企業は廃業になっている企業も多く、景気に格差があると思う。プラスマイナスゼロで変わらない。
		嶺南	商店街	飲食店において、9月頃から来店客が減少しているという話をよく耳にする。秋イベントの増で、需要が増えた店とそうでない店があるようだ。弊社の創業祭は例年通りの来場数があったが、購入金額が上がらなかつた。
	企業動向	奥越	百貨店、SC等	人気店舗が無くなったことで、ショッピングセンターとしても魅力が薄まったためか、9月以降の昨年売上対比が100%を切り、客数は更に落ち込んでいる。
		福井	スーパー	ドラッグストア等の競合店の影響もあり、客数がやや悪化している。
	企業動向	坂井	IT関連	受注額の推移から判断。
	企業動向	福井	織維関連	受注が上向きになっていない。
		福井	眼鏡関連	例年この時期は、夏の好調期と年末の好調期の狭間で、売上・来店者数ともに減少の時期であるが、今年は両者とも、例年以上に悪い状況。その理由が解明できない。
		丹南	電気機械関連	アメリカの関税政策や非関税障壁、それへの対抗措置など、不確実性が大きく、経済活動が鈍い状態が続いている。

## (2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなる	家計動向	嶺南	商店街	歳末に向け、各店舗の売り出しやイベントが開催されると思うので期待している。
		丹南	百貨店、SC等	物価高による節約志向に変化は感じないが、首相交代の期待感や燃料費補助等の効果から、年末年始の消費行動に、多少なりとも活気が出てくることを期待。
		福井	飲食関連	年末年始に向かうので集まりや懇親会に期待している。一方で、材料費の値上がりが大きいと感じている。
		福井	サービス業関連	新生活へ向けて、新車・中古車共に売上増となる見込み。
	企業動向	福井	眼鏡関連	ボーナスシーズンを迎え、売り上げの向上が予想できる。
		福井	百貨店、SC等	株価が上がり、高額品は動きがある。格差はさらに増していくと考えられる。
		福井	百貨店、SC等	デイリー品は生活のために買う傾向は変わらないが、あと一品という性質のもの、例えばケーキ・菓子などは節約傾向にある。
		坂井	スーパー	ガソリンの暫定税率廃止に伴って、家計の燃料費負担は減るもの、その分が消費に回るのか不透明。
③変わらない	家計動向	坂井	観光物産関係	今の状況が変わるとは思えないから。
		嶺南	観光関係	中国からの渡航見合せがどの程度になるのか、主力の香港のお客様にどの程度波及してしまうのか、このあたりは不透明であるが、ほぼ順調に推移すると考えている。
		丹南	電気機械関連	ビジネスの季節性で、例年、受注・売上が減少する時期に入っていく一方で、米国の大統領の動きが、世界情勢や景気に不透明感を与えることを懸念している。
		福井	化学・プラスチック関連	受注状況が変わらないため。
		福井	銀行等金融関連	多くの取引先からは、世界情勢、大型公共工事の発注減、長引く原材料価格の高騰や人件費の圧迫など、先行きの不安を訴える声が多く、資金繰りにも慎重な様子が見られている。
	企業動向	福井	銀行等金融関連	ガソリン暫定税率の廃止による燃料費の低減は期待できる一方、円安による物価上昇の懸念等もあり、個人消費の回復が期待しづらい。
		福井	運輸関連	企業間物流の物量に大きな変化はないと思われる。
		丹南	自治体労働政策担当課	域内企業の融資状況は設備投資が減り、運転資金分の借入が増えていると聞く。物価高・金利高の影響に最低賃金の上昇も加わり、今後さらに厳しくなると危惧。国の経済対策の動向も見守っていく必要がある。
		福井	ジョブカフェ担当者	県内の有効求人倍率は令和4年度をピークに減少傾向のため、今後も有効求人倍率が減少し続けることがあるならば、雇用に与える影響を注視する必要があると考えられる。
		奥越	一般小売店	トランプ関税や中国発言問題などでGDPが低下。景気の良くなる話題がない。
④やや悪くなる	家計動向	福井	家電販売店	ガソリン暫定税率の終了に伴い、物流コストは下がると思われるが、円安による物価高騰が懸念される。
		嶺南	飲食関連	冬が始まると外食や購買意欲も少なくなると思う。ガソリンや灯油代、積雪状況にもよるが、景気が良くなる方には動かないのではないかと思う。
		福井	観光関係	1~2月は閑散期のため、全体的に不振になる。特別な天候不順が無ければ、人員体制のコントロールにより乗り切れると思うが、いずれにしても厳しい冬になる。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、輸出向けで、特に東南アジア等、多くの地域の景気減速と在庫調整による受注減少がしばらく続く見通し。
	企業動向	福井	IT関連	大企業を中心に業績悪化の傾向にある。
		福井	建設・不動産関連	世界における政治状況が不透明である。
		福井	織維関連	今受注が動いていないという事は、3か月後も発注が少ないと思う。
⑤悪くなる	企業動向	福井	眼鏡関連	小売店から商品が出て行かない。注文が減っている。
		嶺南	食料品製造関連	原料の大幅な値上げが決まっている。

## 4. 参考

### (1) 調査対象の構成

調査対象	人数
<b>家計動向関連</b>	52
商店街、小売店	
商店街関係者	5
小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等	
店長・売場主任	10
スーパー	
店長・従業員	5
家電販売店	
経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア	
店長・従業員	2
観光物産関係	
売場責任者	3
飲食関連	
レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連	
サービス業経営者・従業員	4
観光関係	
旅館関係者	2
ビジネスホテル関係者	2
観光・レジャー施設関係者	1
旅行代理店経営者・従業員等	2
タクシー運転手	1
<b>企業動向関連</b>	36
製造業経営者・従業員	
繊維工業	4
眼鏡工業	3
一般機械工業	3
電気機械工業	3
化学・プラスチック工業	3
鉄鋼業	2
伝統工芸	2
商社	2
食料品製造業	2
その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員	
IT関連	2
金融機関	2
建設・不動産	3
運輸	3
<b>雇用関連</b>	12
自治体労働政策担当課	2
労働相談員	2
学校就職担当者	3
ジョブステーション担当者	2
人材派遣会社	1
就職情報誌編集者	2
<b>計</b>	100

## 4. 参考

### (2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状況についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

---

---

#### 【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。

今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている    ②やや良くなっている    ③変わらない  
④やや悪くなっている    ⑤悪くなっている

#### 【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

#### 【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる    ②やや良くなる    ③変わらない    ④やや悪くなる    ⑤悪くなる

#### 【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)